

II 指定野菜価格安定対策事業に関する業務

1 制度の改正

(1) 業務対象年間の短縮

全ての業務区分について業務対象年間を短縮し、平成 15 年度を初年度とする新たな業務対象年間を設定し、改めて価格差補給交付金等の交付に関する予約申込みを受けて事業を実施した。

(2) 業務区分の新設及び対象出荷期間の延長

ア ばれいしょ即売ものについて、対象出荷期間が1月1日～3月31日の業務区分を新設した。

イ たまねぎ即売ものについて、対象出荷期間が8月1日～4月15日を8月1日～4月30日に延長した。

ウ 道府県へ間接補助されていた国庫補助金が廃止され、間接補助金額の相当額についても国から直接機構へ補助されることとなったことから、資金造成に係る国の負担割合を45%から60%（重要野菜は48.75%から65%）に変更した。

2 交付予約及び資金の造成

(1) 交付予約数量

ア 交付予約数量

15年度事業に係る交付予約数量は、業務区分別に前年度と比較すると、増加した数量が10万9千トン、減少した数量が2万9千トン、差し引き8万トン増加して265万2千トンとなった。

イ 種別（対象出荷期間）別の交付予約数量

種別別の交付予約数量の多いものをみると、たまねぎ（即売）（8～4月）、夏秋キャベツ（7～10月）、冬キャベツ（1～3月）等となっている（表2）。また、前年度に比較して増加した主な種別は、秋冬さといも（6～7月）（増加率41.1%）、春だいこん（4～6月）（同21.2%）、ばれいしょ（10～3月）（同17.7%）、夏秋トマト（10～11月）（同15.6%）等で、減少した種別は秋冬さといも（8～9月）（減少率11.2%）、秋冬さといも（1～3月）（同8.6%）、秋冬ねぎ（1～3月）（同6.4%）が主なものである。

ウ 登録出荷団体等別の交付予約数量

15年度事業に係る登録出荷団体別の交付予約数量をみると、数量の多い団体は たまねぎ等の主産地であるホクレンの414千トン、夏秋レタス、夏はくさい、夏秋キャベツの主産地である全農長野県本部の244千トン、冬にんじん、冬キャベツ、春キャベツ等の主産地である全農千葉県本部の193千トン、たまねぎ、秋冬はくさい等の主産地である全農兵庫県本部の155千トン、冬キャベツ等の主産地である愛知県経済連の

153千トンの順となっており、この5団体で全体の43.7%を占めている(図3)。また、前年度に対する伸び率をみると、全農新潟県本部が32.5%、と最も大きく、次いでホクレン13.5%、全農栃木県本部11.6%、鹿児島県経済連11.5%及び全農岡山県本部11.0%が続いている。

(2) 資金造成額

ア 資金造成額

(ア) 15年度事業に係る資金造成総額は1,046億円で、前年度に比べ44億円、4.4%増加した。

(イ) 資金造成については、昭和54年度から平成13年度までは国の直接補助の2分の1を限度として国庫債務負担行為による造成が、平成14年度は国の直接補助の3分の2を限度として国庫債務負担行為による造成が、平成15年度からは国から道府県への間接補助がなくなったことから、直接補助の2分の1を限度として国庫債務負担行為による造成となった。また、昭和55年度からは道府県の補助(国の間接補助分を除く)の4分の1を限度として道府県の債務負担行為による造成が導入された。平成15年度の資金造成額を現金分と債務負担行為分とに区分してみると、現金による造成が712億4,692万円で、全体の68.1%を占めており、残りは国庫債務負担行為(323億9,659万円、31.0%)、道府県債務負担行為(北海道、青森県、福島県及び長野県)9億1,442万円で0.9%となっている(表2)。

表2 造成区分の資金造成額

内訳		14年度		15年度	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
資金造成額		100,165,616	100.0	104,557,931	100.0
内訳	うち、現金	68,154,245	68.0	71,246,923	68.1
	国庫債務負担行為	31,143,823	31.1	32,396,591	31.0
	県債務負担行為	867,548	0.9	914,417	0.9

イ 種別(対象出荷期間)別の資金造成額

種別別に資金造成額の多いものをみると、冬レタス(12~2月)、夏秋トマト(7~9月)、たまねぎ(即売)(8~4月)となっており、次いで冬春きゅうり(11/21~2月)、夏秋キャベツ(7~10月)の順となっている(図5)。また、前年度に比較して増加した主な種別は、秋冬さといも(6~7月)(増加率42.1%)、春だいこん(4~6月)(同21.7%)、夏秋トマト(10~11月)(同16.9%)、ばれいしょ(10~3月)(同16.9%)、となっている。

ウ 登録出荷団体等別の資金造成額

登録出荷団体別の資金造成額の多い主な団体は、春キャベツ、冬キャベツ、冬にんじん等の主産地である全農千葉県本部が77億円、夏秋キャベツ、夏はくさい及び夏秋レタスの主産地である全農長野県本部が73億円、たまねぎ等の主産地であるホクレンの71億円、たまねぎ、冬レタス等の主産地である全農兵庫県本部及び夏秋トマト、冬春トマト等の主産地熊本県経済連が62億円次いで冬春きゅうり、冬春ピーマン等の資金造成単価の高い果菜類の産地である宮崎県経済連が60億円となっている(図6)。

図3 種別（対象出荷期間）別の交付予約数量

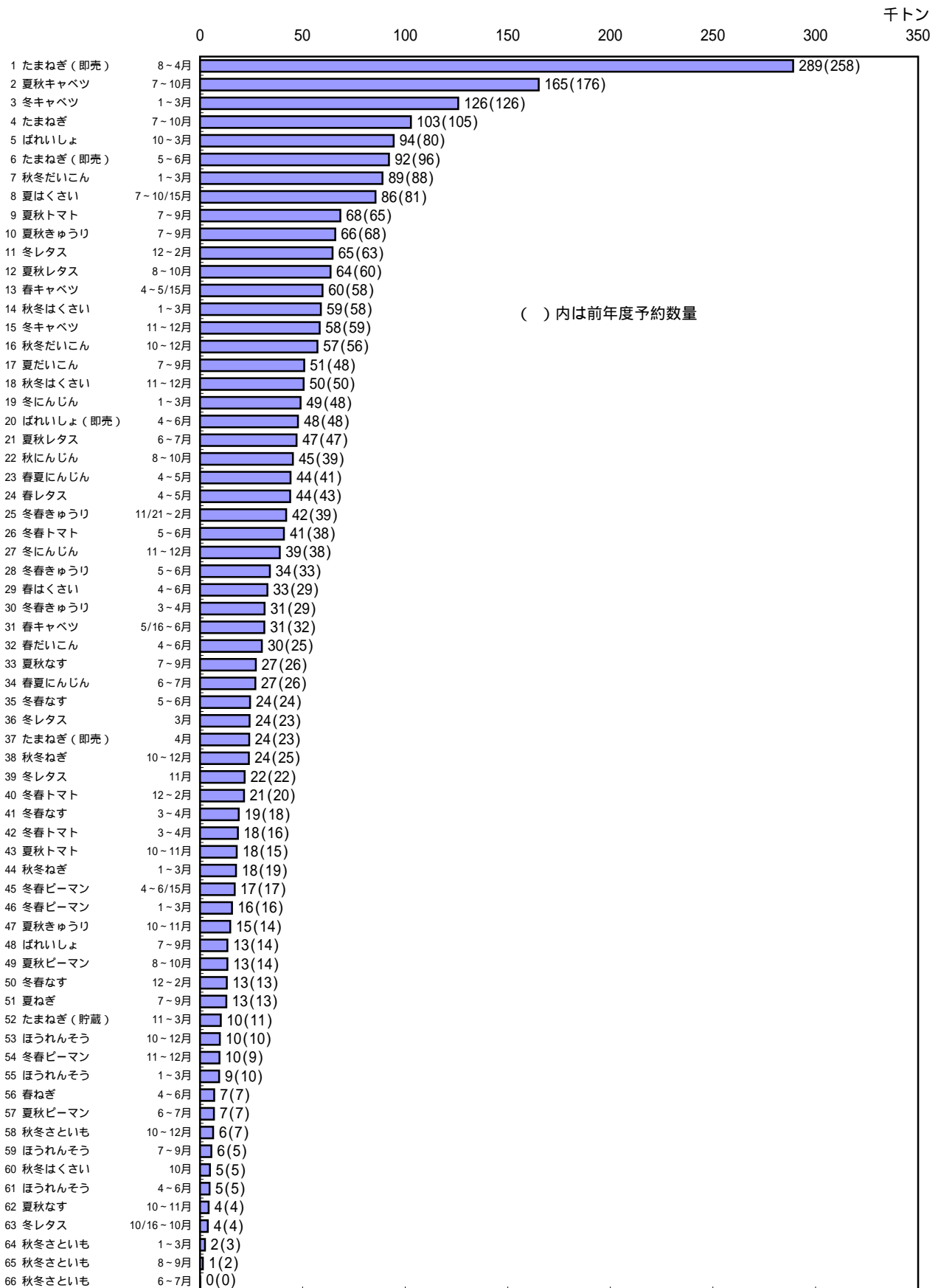


図4 登録出荷団体別の交付予約数量

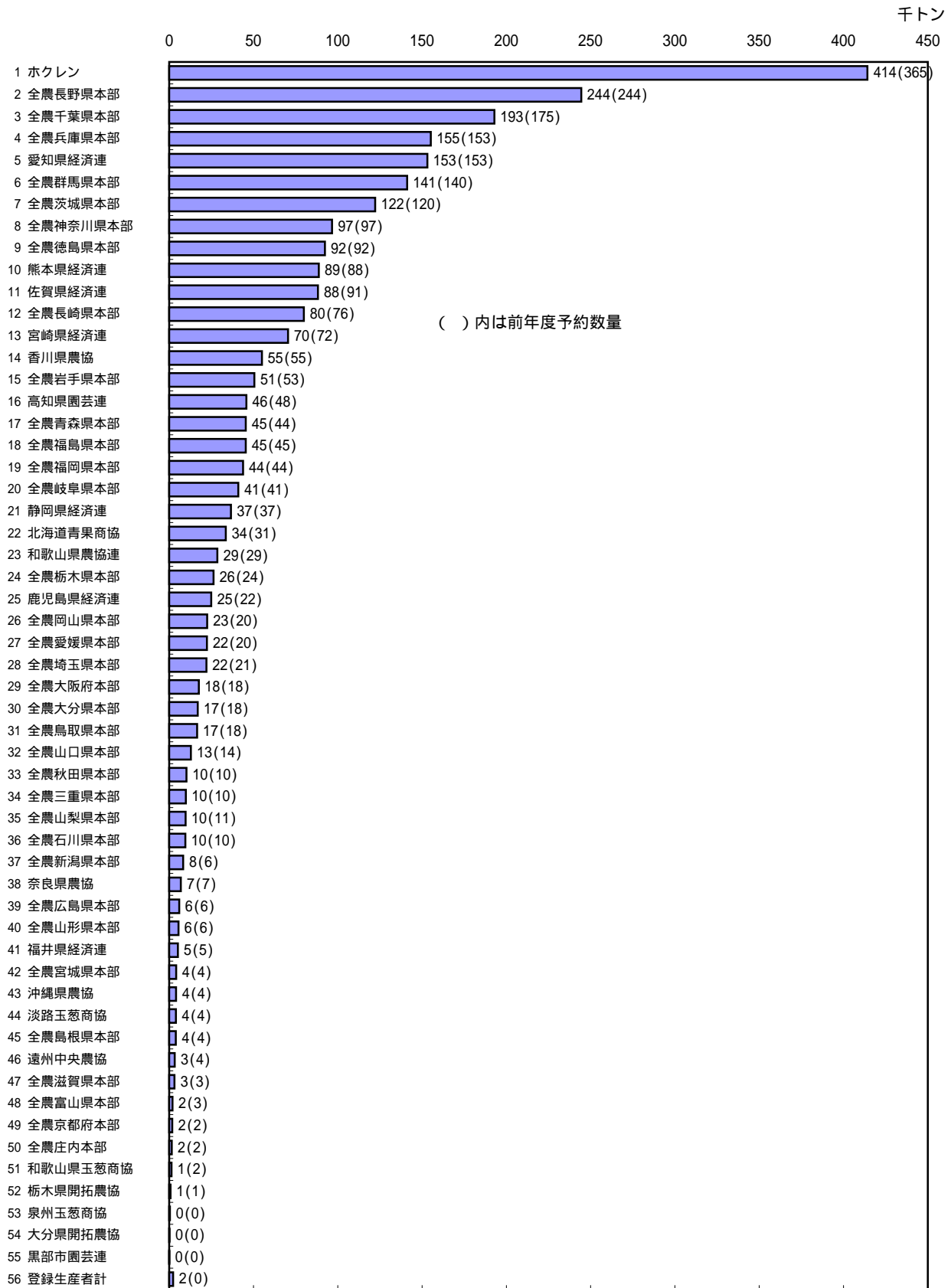


図5 種別（対象出荷期間）別の資金造成額

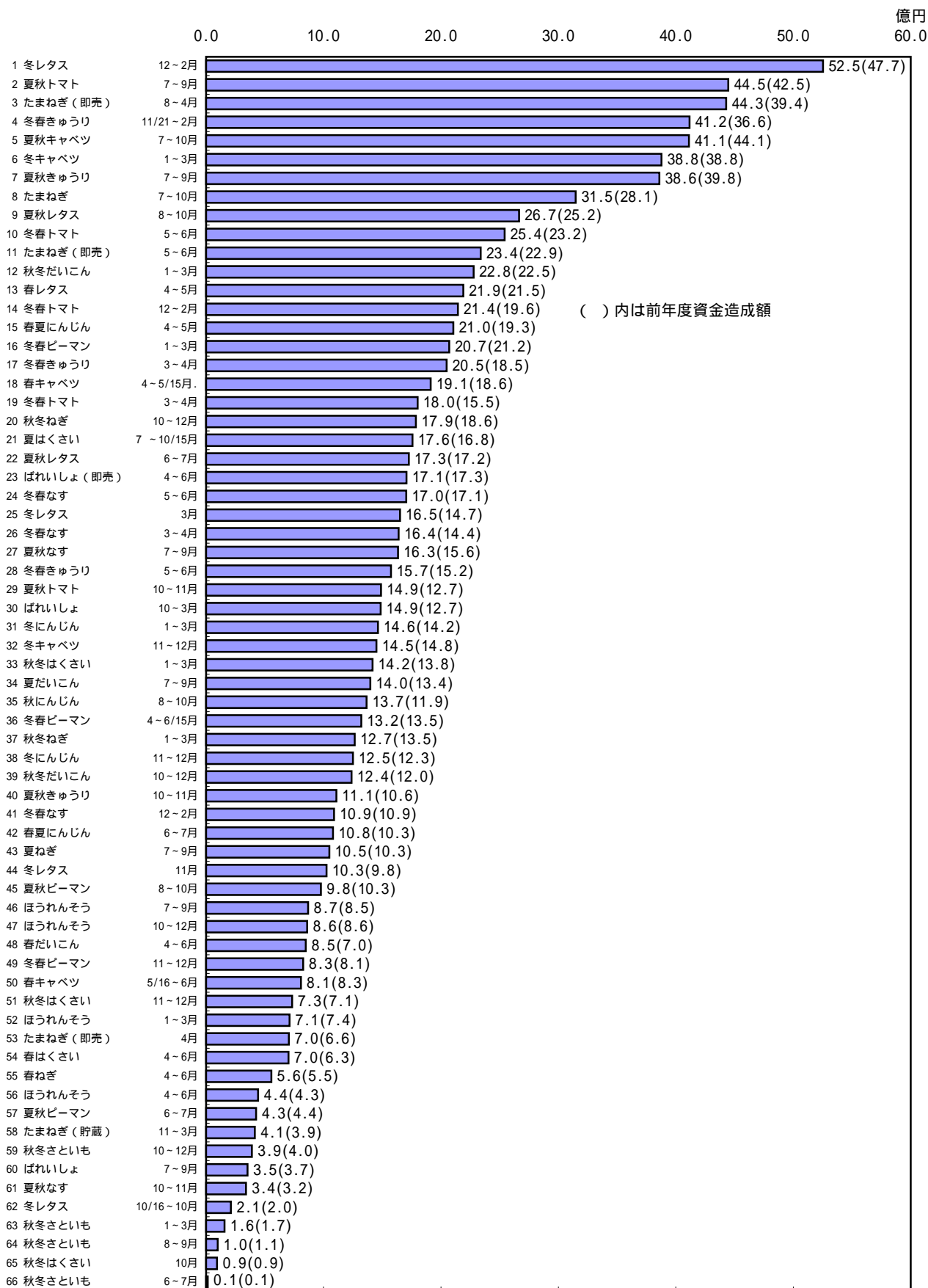
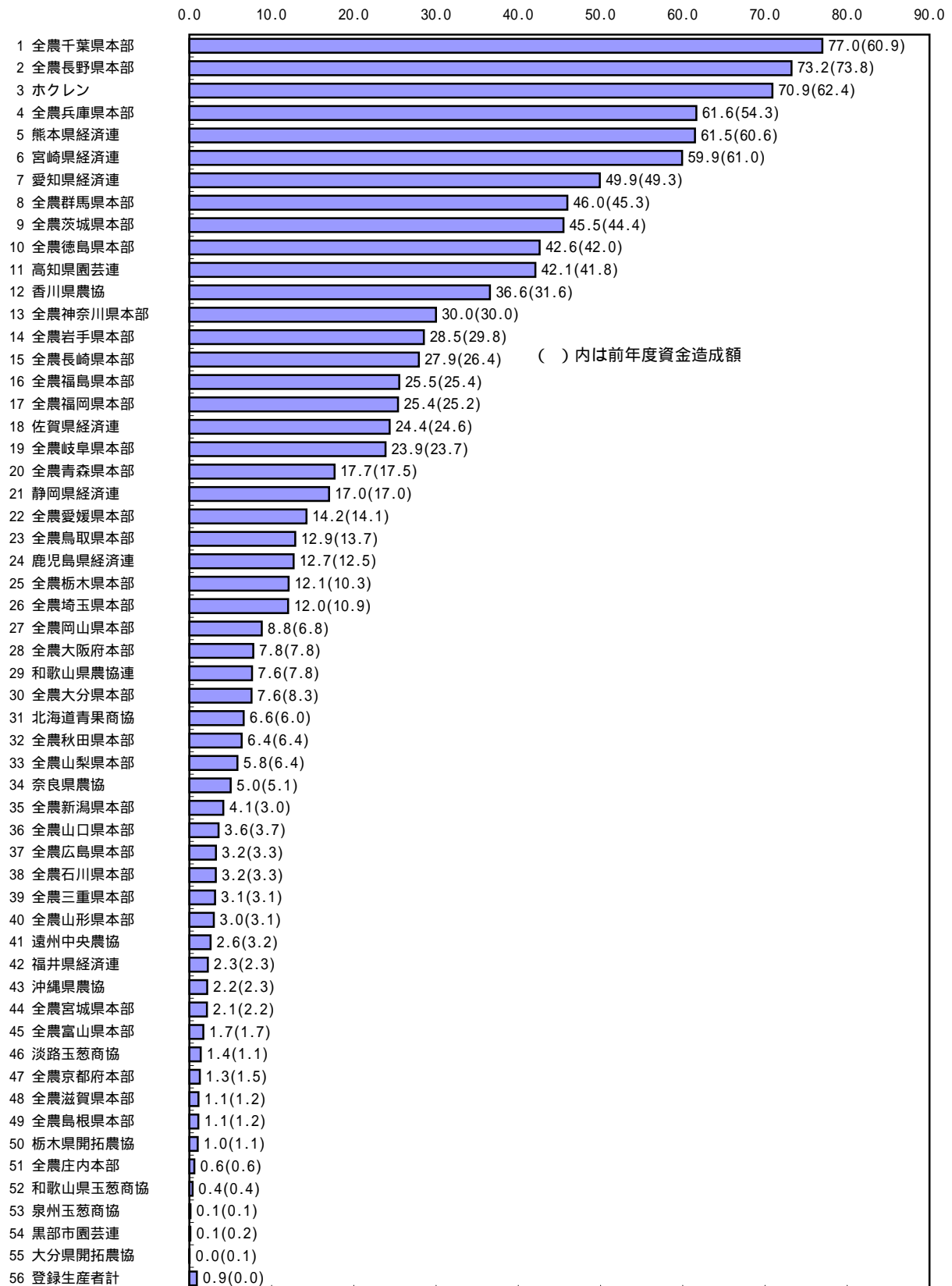


図6 登録出荷団体別の資金造成額

億円



3 価格差補給交付金等の交付

(1) 平均販売価額等の算定

価格差補給交付金等の交付の基礎となる出荷数量、平均販売価額、交付金単価等の算定は、15年度中に対象出荷期間が始まった対象野菜について、業務区分ごと、旬又は月(さといも、たまねぎ及びばれいしょ)ごとに延べ4,693旬・月について行った。これに用いた15年度の仕切データ件数は247万件であり、このうち99.9%がベジフルネット端末を通じた収集となった。

このうち、平均販売価額が保証基準額を下回って価格差補給交付金等の交付が行われたものは延べ1,589旬・月で全体の33.8%(前年度は延べ1,118旬・月で同25.6%)であった。

さらに、平均販売価額が最低基準額をも下回ったものは、延べ245旬・月で全体の5.2%(前年度は延べ71旬・月で同1.6%)であった(表3)。

(2) 価格差補給交付金等の交付額

ア 価格差補給交付金等交付総額

(ア) 15年度事業における価格差補給交付金等の交付総額は、192億9千万円(うち一般補給交付金等191億8千万円、特別補給交付金等1億2千万円)で、資金造成額に対する交付額の比率(交付率)は18.5%であった。

なお、昭和51~平成15年度の平均交付率は15.5%となっている(表4)。

(イ) 指定野菜別に交付額の多いものは、レタスが41億2千万円で最も多く(交付率28.0%)、次いできゅうり31億3千万円(同24.7%)、にんじん30億6千万円(同42.1%)、トマト22億8千万円(同18.4%)、キャベツ16億7千万円(同13.7%)等となっている(図7・表5)。

また、資金造成額に対する交付率では、にんじんが42.1%で最も高く、次いでレタス28.0%、きゅうり24.7%、はくさい23.4%等が平均交付率を上回る交付率となっている(表5)。

表3 平均販売価額算定旬数

年 度	対象野菜区分	対象出荷期間の延べ旬(月)数	内 訳			
			平均販売価額が保証基準額以上であった旬月数	平均販売価額が保証基準額を下回った旬月数	(参 考) 左のうち平均販売価額が最低基準額をも下回った旬月数	出荷実績が無く、平均販売価額の算定も無かった旬月数
平成 15年度	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ以外の指定野菜	4,555 (100.0%)	2,323 (51.0%)	1,543 (33.9%)	240 (5.3%)	689 (15.1%)
	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ	138 (100.0%)	55 (39.9%)	46 (33.3%)	5 (3.6%)	37 (26.8%)
	計	4,693 (100.0%)	2,378 (50.7%)	1,589 (33.9%)	245 (5.2%)	726 (15.5%)
平成 14年度	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ以外の指定野菜	4,250 (100.0%)	2,764 (65.0%)	1,082 (25.5%)	71 (1.7%)	404 (9.5%)
	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ	113 (100.0%)	62 (54.9%)	36 (31.9%)	0 (0.0%)	15 (13.3%)
	計	4,363 (100.0%)	2,826 (64.8%)	1,118 (25.6%)	71 (1.6%)	419 (9.6%)

注：さといも、たまねぎ及びびばれいしょは月数。その他の品目は旬数。

表4 価格差補給交付金等交付額及び交付率の推移

(単位：千円、%)

年度	区分	価格差補給交付金等交付額	交付率
昭和	51年度	2,231,282	8.7
"	52年度	10,746,613	31.4
"	53年度	20,479,139	40.4
"	54年度	14,128,250	23.4
"	55年度	7,255,577	11.0
"	56年度	12,913,990	17.5
"	57年度	16,081,755	20.5
"	58年度	4,391,659	5.4
"	59年度	17,293,106	20.2
"	60年度	19,386,921	21.6
"	61年度	25,897,995	29.3
"	62年度	12,669,217	14.3
"	63年度	7,995,175	9.5
平成	元年度	5,776,084	6.9
"	2年度	2,561,168	3.0
"	3年度	3,698,177	4.3
"	4年度	14,900,451	17.4
"	5年度	5,309,363	6.1
"	6年度	5,259,868	6.1
"	7年度	6,435,671	7.3
"	8年度	14,454,904	15.5
"	9年度	11,314,439	12.1
"	10年度	10,369,189	10.8
"	11年度	14,846,795	15.1
"	12年度	16,639,939	16.9
"	13年度	26,594,382	27.0
"	14年度	14,792,407	14.8
"	15年度	19,294,788	18.5
昭和51～平成15年度平均交付率			15.5

図7 価格差補給交付金等の指定野菜別割合

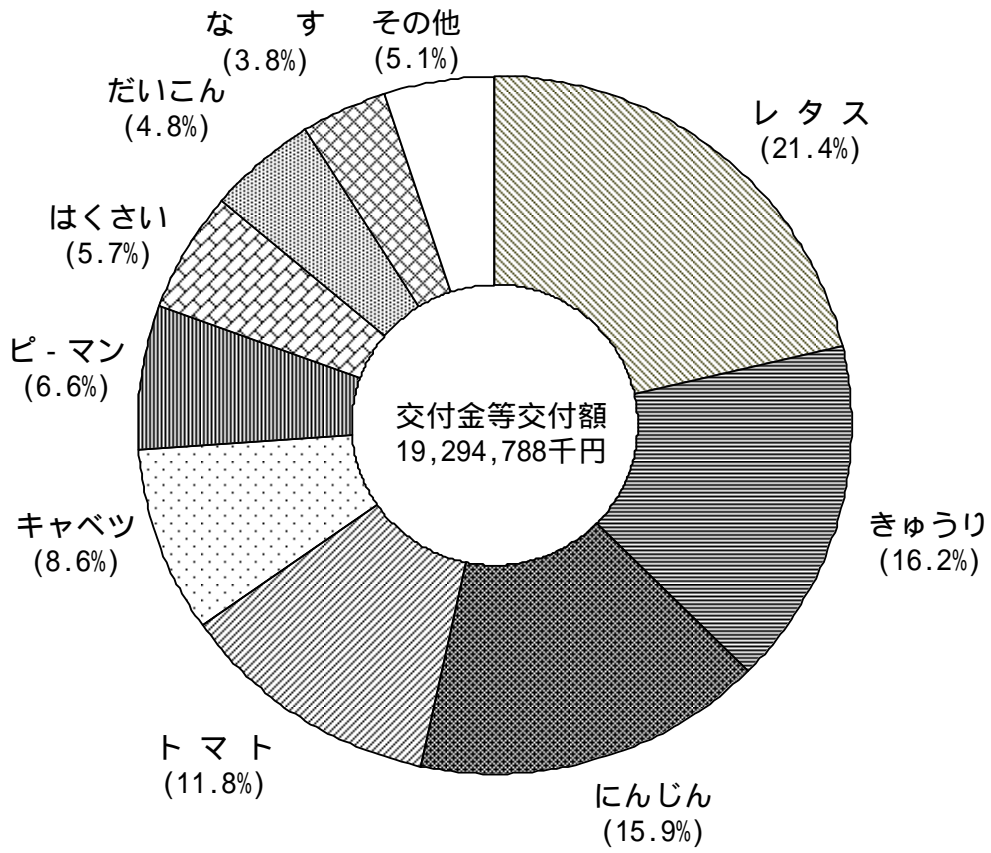


表5 指定野菜別の価格差補給交付金等交付額

(単位：千円、%)

指 定 野 菜	価格差補給交付金等交付額			造成額に対する交付率
	一 般	特 別	計	
キ ャ ベ ツ	1,585,641	81,008	1,666,649	13.7
き ゆ う り	3,133,664	-	3,133,664	24.7
さ と い も	132,878	-	132,878	20.1
だ い こ ん	917,592	7,720	925,312	16.1
た ま ね ぎ	88,838	9,762	98,600	0.9
ト マ ト	2,284,844	-	2,284,844	18.4
な す	742,512	-	742,512	11.6
に ん じ ん	3,059,709	-	3,059,709	42.1
ね ぎ	516,167	-	516,167	11.1
は く さ い	1,081,424	17,956	1,099,380	23.4
ば れ い し ょ	14,665	-	14,665	0.4
ピ - マ ン	1,274,755	-	1,274,755	22.7
ほうれんそう	225,059	-	225,059	7.8
レ タ ス	4,120,594	-	4,120,594	28.0
合 計	19,178,342	116,446	19,294,788	18.5

イ 種別（対象出荷期間）別の交付額

種別（対象出荷期間）別の交付額は、冬春きゅうり（11/21～2月）の16億4千万円が最も多く、次いで夏秋レタス（8～10月）の12億3千万円、秋にんじん（8～10月）の12億1千万円、冬にんじん（11～12月）の9億3千万円、夏秋トマト（7～9月）の8億8千万円等となっている。

また、資金造成額に対する交付率では、秋にんじん（8～10月）の88.7%が最も高く、次いで冬にんじん（11～12月）の74.2%、冬にんじん（1～3月）の59.3%、冬キャベツ（11～12月）の56.9%、夏秋なす（10～11月）の56.4%等となっている（表6）。

ウ 登録出荷団体等別の交付額

登録出荷団体等別に交付額をみると、交付額の多い団体等は、夏秋レタス、夏はくさいを主体とした全農長野県本部が27億1千万円で最も多く、次いで冬にんじん、冬キャベツを主体とした全農千葉県本部が20億5千万円、冬春きゅうり、冬春ピーマンを主体とした宮崎県経済連が17億5千万円、夏秋レタス、冬レタスを主体とした全農茨城県本部が15億8千万円、秋にんじん、夏だいこんを主体としたホクレンが12億1千万円の順となっており、この5団体で全体の交付額の48%を占めている（表7）。

表6 種別(対象出荷期間)別の価格差補給交付金等交付額

(単位:千円、%)

対象野菜	種別	対象出荷期間	交付金等交付額	交付率	対象野菜	種別	対象出荷期間	交付金等交付額	交付率		
キャベツ	春	4.1~5.15	0	0.0	にんじん	春夏	4.1~5.31	9,807	0.5		
		5.16~6.30	222,442	27.6			6.1~7.31	43,264	4.0		
		小計	222,442	8.2			小計	53,071	1.7		
	夏秋	7.1~10.31	541,065	13.2		秋	8.1~10.31	1,211,229	88.7		
	冬	11.1~12.31	825,987	56.9		(金時)	冬	11.1~12.31	768,855	81.0	
1.1~3.31		77,155	2.0	11.1~12.31	8,579			10.2			
小計	903,142	16.9	11.1~12.31	150,095	69.3						
計	1,666,649	13.7	小計	927,529	74.2						
				1.1~3.31	715,990			62.8			
きゅうり	夏秋	7.1~9.30	196,878	5.1	(金時)	1.1~3.31	0	0.0			
		10.1~11.30	349,894	31.5	(除金時)	1.1~3.31	151,890	49.1			
		小計	546,772	11.0	小計	867,880	59.3				
	冬春	11.21~2.29	1,638,373	39.8	計	3,059,709	42.1				
		3.1~4.30	854,262	41.7							
5.1~6.30		94,257	6.0								
小計	2,586,892	33.4									
計	3,133,664	24.7									
さといも	秋冬	8.1~9.30	15,579	15.7	ねぎ	春	4.1~6.30	5,899	1.1		
		10.1~12.31	39,544	10.1			(白)	夏	7.1~9.30	264,529	37.8
		1.1~3.31	77,563	49.5					(青)	7.1~9.30	57,499
		6.1~7.31	192	1.4		小計			29,401	33.3	
	計	132,878	20.1	(調製)		10.1~12.31	49,824	9.1			
				(白)	10.1~12.31	61,839	8.9				
だいこん	春	4.1~6.30	72,147	8.5	(青)	10.1~12.31	17,846	3.9			
		7.1~9.30	487,949	34.9	(調製)	秋冬	10.1~12.31	5,613	6.7		
		10.1~12.31	363,928	29.4			小計	135,122	7.6		
	夏	1.1~3.31	1,288	0.1			(調製)	1.1~3.31	14,709	4.9	
		小計	365,216	10.4			(白)	1.1~3.31	0	0.0	
計	925,312	16.1	(青)	1.1~3.31			0	0.0			
				小計	9,008	8.8					
たまねぎ	即売	8.1~4.30	98,600	2.2	計	23,717	1.9				
		4.1~4.30	0	0.0							
		5.1~6.30	0	0.0							
	小計	98,600	1.3								
	貯蔵	7.1~10.31	0	0.0							
計	11.1~3.31	0	0.0								
			98,600	0.9							
トマト (三ニ)	夏秋	7.1~9.30	883,057	21.5	はくさい	春	4.1~6.30	201,830	28.8		
		7.1~9.30	38,114	11.1			夏	7.1~10.15	617,326	35.1	
		小計	921,171	20.7				秋冬	10.1~10.31	47,041	50.4
	(三ニ)	10.1~11.30	172,667	12.5		11.1~12.31			163,736	22.4	
		10.1~11.30	22,273	20.0		1.1~3.31	69,447		4.9		
	小計	194,940	13.1	計	280,224	12.5					
	(三ニ)	12.1~2.29	4,273	0.3							
		12.1~2.29	98,893	15.6							
		小計	103,166	4.8							
	(三ニ)	冬春	3.1~4.30	251,091	20.5	ばれいしょ	春	4.1~6.30	0	0.0	
3.1~4.30			290,426	50.3	夏			7.1~9.30	14,665	4.2	
小計			541,517	30.1				10.1~3.31	0	0.0	
(三ニ)	5.1~6.30	378,147	17.8	計			14,665	0.4			
	5.1~6.30	145,903	34.5								
小計	524,050	20.6									
計	2,284,844	18.4									
なす	夏秋	7.1~9.30	1,745	0.1	ピーマン	夏秋	6.1~7.31	40,267	9.5		
		10.1~11.30	191,743	56.4			冬春	8.1~10.31	220,658	22.6	
		小計	193,488	9.8				小計	260,925	18.6	
	冬春	12.1~2.29	115,465	10.6		11.1~12.31		226,073	27.3		
		3.1~4.30	432,271	26.4		1.1~3.31	552,679	26.7			
小計	549,024	12.4	4.1~5.31	213,207	17.7						
計	742,512	11.6	6.1~6.15	21,871	18.9						
				小計	1,013,830	24.0					
				計	1,274,755	22.7					
				ほうれんそう	春	7.1~9.30	80,544	9.3			
						夏	10.1~12.31	143,581	16.7		
							1.1~3.31	934	0.1		
					4.1~6.30		0	0.0			
					計	225,059	7.8				
				レタス (非結球)	春	4.1~5.31	601,931	27.5			
						夏秋	6.1~7.31	865,722	53.9		
							6.1~7.31	16,367	13.6		
					小計		882,089	51.1			
					夏秋	8.1~10.31	1,083,721	44.9			
						8.1~10.31	150,008	59.7			
						小計	1,233,729	46.3			
					冬	10.16~10.31	110,636	52.3			
						11.1~11.30	536,978	52.3			
						12.1~2.29	721,829	13.7			
				3.1~3.31		33,402	2.0				
				小計	1,402,845	17.2					
				計	4,120,594	28.0					
				総計	19,294,788	18.5					

表7 登録出荷団体等別の価格差補給交付金等交付額

(単位：千円、%)

登録出荷団体等	交付金等交付額	交付率
ホクレン	1,208,505	17.0
北海道青果商協	287,693	43.6
(北海道計)	1,496,198	19.3
全農青森県本部	438,694	24.8
全農岩手県本部	382,673	13.4
全農宮城県本部	11,011	5.1
全農秋田県本部	73,493	11.6
全農山形県本部	32,931	11.0
全農庄内本部	5,211	8.7
(山形県計)	38,142	10.6
全農福島県本部	314,440	12.3
全農茨城県本部	1,575,721	34.6
全農栃木県本部	152,593	12.6
栃木県開拓農協	4,165	4.1
(栃木県計)	156,758	12.0
全農群馬県本部	756,467	16.5
全農埼玉県本部	286,327	23.8
全農千葉県本部	2,048,922	26.6
全農伊豆川本部	213,596	7.1
全農新潟県本部	106,268	25.7
全農富山県本部	14,166	8.3
黒部市園芸連	471	3.8
(富山県計)	14,637	8.0
全農石川県本部	105,476	32.7
福井県経済連	39,140	17.4
全農山梨県本部	89,691	15.4
全農長野県本部	2,710,505	37.0
全農岐阜県本部	563,069	23.6
静岡県経済連	118,039	6.9
遠州中央農協	310	0.1
(静岡県計)	118,349	6.0
愛知県経済連	731,848	14.7
全農三重県本部	39,195	12.5

登録出荷団体等	交付金等交付額	交付率
全農滋賀県本部	11,617	10.5
全農京都府本部	15,499	12.1
全農大阪府本部	54,017	6.9
泉州玉葱商協	0	0.0
(大阪府計)	54,017	6.8
全農兵庫県本部	641,456	10.4
淡路玉葱商協	0	0.0
(兵庫県計)	641,456	10.2
奈良県農協	63,286	12.6
和歌山県農協連	47,718	6.3
和歌山県玉葱商協	0	0.0
(和歌山県計)	47,718	6.0
全農鳥取県本部	161,485	12.5
全農島根県本部	7,135	6.5
全農岡山県本部	112,378	12.8
全農広島県本部	33,213	10.3
全農山口県本部	27,835	7.8
全農徳島県本部	408,213	9.6
香川県農協	421,192	11.5
愛媛県農協連	206,653	14.5
高知県園芸連	950,372	22.6
全農福岡県本部	326,674	12.9
佐賀県経済連	142,228	5.8
全農長崎県本部	269,999	9.7
熊本県経済連	798,494	13.0
全農大分県本部	78,137	10.3
大分県開拓農協	0	0.0
(大分県計)	78,137	10.3
宮崎県経済連	1,747,147	29.2
鹿児島県経済連	343,516	27.1
沖縄県農協	92,232	42.5
登録生産者計	23,672	25.9
総計	19,294,788	18.5

(3) 計画出荷の認定に係る価格差補給交付金等の交付状況等

ア 特別補給交付金等の交付

重要野菜（キャベツ、たまねぎ、秋冬だいこん及び秋冬はくさい）については、業務区分及び登録出荷団体ごとに農林水産省生産局長の承認を受けた供給計画数量とそれに見合う出荷実績数量との差がおおむね5%の範囲内であるとして、地方農政局長等の認定が行われた場合には、一般補給交付金等の9分の1の額を特別補給交付金等として交付することとしている。

15年度事業において、この供給計画出荷に係る認定の対象（価格差補給交付金等の交付の対象となったもの）となった登録出荷団体等は延べ133団体等（前年度は112団体等）で、対前年度の約1.2倍であった。更に、このうち特別補給交付金等が交付された団体等は延べ38団体等（前年度は36団体等）で、交付された特別補給交付金等の総額は116,446千円（前年度は336,070千円）であった（表8）。

イ 一般補給交付金等の一部交付

重要野菜については、計画出荷の認定にあわせて、地方農政局長等が出荷実績数量と供給計画数量との差の程度に応じた認定が行われ、その乖離の程度（5段階）に応じて一般補給交付金等の一部を減額して交付することとしている（業務方法書第115条）。

15年度事業においてこの一部交付の認定の対象となった登録出荷団体等は延べ218団体等（前年度198団体等）であった。このうち延べ85団体等（構成比39%）が一部減額交付となり、減額された金額は26,023千円（前年度は72,041千円）で交付予定額に対して1.13%の減額となった（表9）。

表 8 特別補給交付金等の交付状況

対象野菜	対象出荷期間	登録出荷団体等			特別補給 交付金等 (千円)
		計画出荷のAランク 認定された延べ団体 数 (A)	左のうち特別補給交 付金等が交付された もの (B)	B / A (%)	
春キャベツ	4~5/15月	0	0	0	0
	5/16~6月	15	5	33	18,869
夏秋キャベツ	7~10月	25	6	24	23,609
	11~12月	19	7	37	37,544
秋冬だいこん	1~3月	23	5	22	986
	10~12月	25	7	28	7,688
秋冬はくさい	1~3月	3	1	33	32
	10月	2	0	0	0
たまねぎ	11~12月	16	4	25	12,696
	1~3月	6	2	33	5,260
	4月	0	0	0	0
たまねぎ	5~6月	0	0	0	0
	7~10月	0	0	0	0
	11~3月	0	0	0	0
	8~4月	2	1	50	9,762
	計 a	136	38	28	116,446
前年度 b	112	36	32	336,070	
対前年度 a / b (倍)		1.2	1.1	-	0.3

表9 一般補給交付金等の一部交付の状況

(単位：団体、千円、%)

認定区分	登録出荷団体等		当該登録出荷団体等の一般補給交付金等					b' / a
	延べ 団体等数	構成比	交付予定額 a	不交付額 b			交付額	
				計画出荷の 認定に係る ものb'	辞退に係る もの b''	計 b		
A	133	61	2,117,492	-	3,864	3,864	2,113,628	-
B	45	21	142,559	14,278	132	14,410	128,149	10.02
C	23	10	41,853	8,379	67	8,446	33,407	20.02
D	9	4	5,779	1,737	0	1,737	4,042	30.06
E	4	2	1,059	425	0	425	634	40.13
F	4	2	2,406	1,204	0	1,204	1,202	50.04
計(A)	218	100	2,311,148	26,023	4,063	30,086	2,281,062	1.13
前年度(B)	198	100	4,991,442	72,041	6,969	79,010	4,912,432	1.44
対前年度比 (A)/(B)(倍)	1.1	-	0.5	0.4	0.6	0.4	0.5	-

4 野菜生産出荷安定資金の収支

指定野菜価格安定対策事業に係る資金のうち、登録出荷団体等からの負担金を管理している指定業務資金、道府県からの納付金を管理している指定助成業務資金及び国からの補助金を管理している指定共通業務資金の収支の状況を年度事業単位で見ると（表10）、前年度事業末資金残高 854 億円から 15 年度事業の予約数量減に伴う指定特別業務資金への積立 8 億円、負担金の返戻 2 億円をそれぞれ取り崩し、国助成業務資金の廃止に伴い国助成業務資金 126 億円を指定特別業務資金へ繰入れ、新たに 15 年度事業を開始するに当たり必要とされる資金として指定特別業務資金からの繰入額 163 億円、指定特別資金からの繰入額 81 億円、登録出荷団体からの負担金 37 億円、国からの補助金及び道府県からの納付金 38 億円をそれぞれ造成し、国庫債務負担行為 13 億円を増額して、資金造成総額は 1,049 億円（交付金国助成業務資金取崩額 3 億円、国庫・道府県債務負担行為 333 億円含む。）となったが、本年度事業の価格差補給交付金等の交付額は 193 億円となり、差引き 15 年度事業終了時点の資金残高は 856 億円となった。

表10 野菜生産出荷安定資金の収支

参考

(単位：円)

区分	資金区分			計	参考		準備金	計
	指定業務資金	指定助成業務資金	指定共通業務資金		指定特別資金	指定特別業務資金		
平成14年度事業未資金残高	16,158,692,500	29,422,655,500	39,791,861,000	85,373,209,000	376,999,000	5,290,109,087	17,800,619,290	23,467,727,377
各資金から指定特別業務資金へ 積み立てる額	168,309,500	659,335,000	-	827,644,500	-	827,644,500	-	827,644,500
負担金等払戻金	193,960,000	-	-	193,960,000	-	-	-	-
平成15年度事業資金造成額	4,087,509,500	4,085,636,000	25,001,322,000	33,174,467,500	-	-	-	-
内	負担金	3,704,984,000	-	3,704,984,000	-	-	-	-
	補助金及び納付金	-	3,501,595,500	337,831,000	3,839,426,500	7,740,489,000	-	7,740,489,000
訳	指定特別業務資金から他の資金 へ繰入れる額	382,525,500	584,040,500	15,293,235,000	16,259,801,000	-	16,259,801,000	16,259,801,000
	指定特別資金から他の資金へ 繰入れる額	-	0	8,117,488,000	8,117,488,000	8,117,488,000	-	8,117,488,000
	国庫債務負担行為額	-	-	1,252,768,000	1,252,768,000	-	-	-
国指定助成業務資金の廃止に伴う資金移動		12,637,169,000		12,637,169,000	-	12,637,169,000	-	-
平成15年度事業資金造成総額	19,883,932,500	3 20,211,787,500	64,793,183,000	1, 3 104,888,903,000	-	-	-	-
平成15年度事業に係る交付金	3,757,770,500	4,086,569,500	11,450,448,000	19,294,788,000	-	-	-	-
上期利益相当額(売買保管勘定含む。)から受入	-	-	-	-	-	2,288,875,833	-	-
下期利益相当額から受入	-	-	-	-	-	280,638,447	-	-
準備金からの繰入額	-	-	-	-	-	2 18,256,134,957	17,800,619,290	-
平成15年度事業未資金残高	16,126,162,000	16,125,218,000	53,342,735,000	85,594,115,000	0	23,320,770,824	0	23,320,770,824

1資金造成総額計104,888,903,000円には下欄の債務負担行為額33,311,008,000円を含む。

2売買保管勘定からの繰入455,515,667円を含む。

3平成15年度事業交付金の国指定助成業務資金取崩額330,972,000円を含む。

国庫債務負担行為額
債務負担額
32,396,591,000

道府県債務負担行為額	
導入した道府県	債務負担額
北海道	357,155,000
青森県	88,232,000
福島県	119,030,000
長野県	350,000,000
計	914,417,000